

【家庭科課題 ワークシートNo.2について】

教科書P24～31・P34～37、資料集「幼児の成長をみて見よう」、インターネットなどで調べて取り組んでみましょう。分からないところは、下記の解答を参考にしてやってみましょう。

3年家庭科 ワークシート No.2の模範解答

1、0歳から6歳までの発達の特徴

年齢	身体的な特徴	精神的な特徴
1～2 か月頃	仰向けにすると腕は(① W)字型・足は(② M)字型(③腹式)呼吸 首が安定していない	(④ 音)に反応する (⑤ 誰)に対しても同じような反応
3～4 か月頃	(⑥ 首)がすわり始める	(⑦人見知り)をする 親とそれ以外の人との区別ができるようになる (⑧ 声)を出して笑う
5～6 か月頃	(⑨ 離乳)食への移行が始まる (⑩ 体の近くのもの)に手を伸ばす なんでも(⑪ □)に入れる	(⑫ 喃語)を発する 快、不快、興奮、怒り、嫌う、おそれなどの情緒があらわれる
7～8 か月頃	(⑬ねがえり)(⑭ うつぶせ) (⑮ おすわり)(⑯ はいはい) 等するようになる	(⑰ 好奇心)が旺盛
9～11 か月頃	(⑱ つかまり)立ちをする 指で物を(⑲ つかむ)	
1歳頃	(⑳ コップ)を使って飲んだり、 (㉑ スプーン)フォークなどを使って食べようとする (㉒ひとり立ち)(㉓ひとり歩き)ができるようになる この時初めてはくのがファーストシューズである	「わんわん」「マンマ」など (㉔ 一語)文を話し始める 自己主張が出てきて、だだをこねることもある (㉕ 一人)遊びが中心 身近な大人生活する中で(㉖愛情)や信頼感をもつ
2歳頃	運動機能が発達し、(㉗ ボール)を蹴ったりすることもできる 手先が器用になり、積み木を(㉘積)むなどの遊びをするようになる	他の子が遊んでいるとその近くで同じ遊びをするが、互いに存在を感じながらも別々に遊んでおり(㉙ 平行)遊びと呼ばれる 親の言うことを拒否したり、わざと逆のことをする(㉚ 第一反抗期)が始まる 「わんわん来た」など(㉛ 二語)文で話すことができるようになる

3 歳頃	<p>さらに(㉔ 手先 )が器用になり、はさみを使って紙を切ることができるようになる。</p> <p>(㉕ はし )を使うことができるようになり、こぼさずに食事が可能になる</p>	<p>友だちと一緒に遊ぶことができるようになる。互いに役割分担をして大人の真似をしながら(㉖ ごっこ )遊びなどを楽しむ。</p> <p>遊びや生活を通して(㉗ 思いやり )や協調性を身につける</p>
4 歳頃	<p>(㉘ スキップ)・(㉙ 片足とび)をするなど全身を使った運動を楽しむようになる</p> <p>弾んでいるボールをつかむなど高度な運動も可能になる</p>	<p>単語だけでなく、接続詞や助詞なども使った(㉚ 多語文 )を使えるようになり、だいたいの日常会話が成立する</p> <p>自分の名前を言うことができる</p> <p>(㉛ トラブル)が生まれけんかも多くなる なぜと疑問が多くなる</p>
5.6 歳頃	<p>運動機能の高まりを十分に発揮できるようになり細かい(㉜ 手 )や(㉝ 指 )の動きが可能になる</p> <p>(㉞ 折り紙)楽しむこともできる</p>	<p>仲間と活発に遊ぶ機会を持ち自分たちで(㉟ 遊 )びの</p> <p>(㊱ ルール )を考えてそれを守りながら遊ぶこともできる</p> <p>(㊲ 文字)などへ興味生まれ、友だちと話し合ったり、図鑑を調べたりするようになる</p>

\*言葉は、周囲の人との(やりとり)の中で発達する。

\*情緒とは、(人やものに対して現れる心)の動き。

\*社会性とは、人が人との(関係)をもつことができること。

幼児の体の発達について( )にあてはまる語句を記入してみよう。

(1) 幼児の体の発達が目覚ましく(身長 )や体重が大きく増加する

(2) 体の基礎となる(①骨格)や内臓器官の発達、呼吸や循環機能、体温調節や消火吸収機能などが発達し、とくに(②脳)と神経系の発達が著しい。

(3) 幼児は体に比べて(頭)が大きいいため、バランスが取りにくく転びやすい。

幼児の心の発達について( )にあてはまる語句を記入してみよう。

(1) 幼児期には、言語や(①情緒)が発達し、自我が芽生え、(②社会性)が発達する。

(2) 心の発達にともなって(①自己)を主張する力や(②協調 )していく力が身についていく。

(3) 発達の過程で思うようにできないことも多いが周囲の人は幼児が今できることを認め(支えて)いくことが幼児の成長を助けることができる。

